

I 平成 30 年度事業報告書(平成 30 年度事業報告の附属明細書)

公益財団法人瑞鳳殿は、仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する調査研究を行い、併せて、当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与することを目的としており、その目的を達成するため平成 30 年度において次の事業を行った。

I 事業報告

1 瑞鳳殿の施設公開

(1) 休館日 12月31日

(1月1日は瑞鳳殿のみ無料公開)

(2) 御霊屋の特別開帳と遠忌法要等

- ① 5月24日 初代藩主伊達政宗公遠忌法要、瑞鳳殿特別開帳
- ② 6月 4日 三代藩主伊達綱宗公遠忌法要、善応殿特別開帳
- ③ 7月12日 二代藩主伊達忠宗公遠忌法要、感仙殿特別開帳
- ④ 8月6～8日 仙台七夕期間、瑞鳳殿特別開帳
- ⑤ 8月15日 お盆、瑞鳳殿特別開帳
- ⑥ 10月6～21日 秋の瑞鳳殿特別開帳 (特別御集印も 1,500 枚頒布)
- ⑦ 1月 1日 元朝詣り、瑞鳳殿特別開帳
- ⑧ 1月 2日 新年拝礼式、瑞鳳殿特別開帳
- ⑨ 5月 8日 奉納の会、瑞鳳殿特別開帳

2 政宗歴史塾

「岩出山から仙台城へ ―近世伊達氏の城郭政策―」

平成30年8月3日(金)13時30分～16時30分 仙台メディアテーク 参加者 152 人

講師 伊達泰宗氏(伊達家18代当主)

講師 管野正道氏(元仙台市博物館主幹兼学芸普及室長)

3 企画展の開催

(1) 春の企画展

「雛遊～ひいなあそび～」

平成30年2月28日(水)～平成30年5月6日(日)

(68 日間 参考観覧者数:37,958 人)

(2) 秋の企画展

「伊達家三藩主 秋冬の嗜み」

平成30年10月6日(土)～平成30年11月19日(月)

(45 日間 参考観覧者数:46,435 人)

(3) 伝統的雛人形の展示(資料館前室)

「政宗公と愛でるお雛さま」

平成31年3月1日(金)～3月10日(日)

(10 日間 参考観覧者数:5,447 人)

4 各種イベント

(1) 七夕ナイト

8月6日(月)、7日(火)、8日(水) (瑞鳳殿境内各所)

- ① 伝統的な仙台七夕飾りの再現
- ② 竹灯籠と照明による境内ライトアップ
- ③ 森のコンサートの開催
- ④ 七夕パネル展示

3 日間で 6,566 人の観覧者 (うち七夕ナイトの観覧者は 2,417 人)

評定河原運動場駐車場を七夕ナイト時の臨時駐車場として用意した

(2) 秋のライトアップ

11月9日～11日、16～18日 毎金土日17時～19時

- ① キャンドルと照明による参道ライトアップ
- ② 境内の紅葉ライトアップ

6日間で 9,166 人の観覧者 (うち秋のライトアップ観覧者は 1,928 人)

(3) その他・イベント

① 平成30年度 奉納の会((公財)仙台観光国際協会)

5月8日(火) 奉納された工芸品は5月24日(木)まで、資料館前室にて展示

② 仙台青葉まつり出陣式(五葉山火縄銃鉄砲隊)

5月20日(日) 表参道～涅槃門前 10時

③ 来館者累計700万人記念事業

ア) カウントダウンクイズ 5月24日(木)～6月中旬

来館者累計700万人達成を当てていただく「カウントダウンクイズ」を実施

イ) 700万人達成セレモニー 6月30日(土)

700万人目のお客様となった大阪からお越しの親子には記念品を贈呈した

④ 伊達家十八代当主と巡る瑞鳳殿ツアー「甦る極彩色の美」

10月6日(土) 9時～11時30分

参加者 19 人

⑤ 秋の能楽(仙台市能楽振興協会)

10月14日(日) 経ヶ峯西側広場特設ステージ 14時～15時30分

⑥ 伝統的な門松製作見学会と御弊の製作体験

12月17日(月) 14時～16時30分

参加者 親子3組8人

5 広報事業

- (1) 瑞鳳殿広報誌「経ヶ峯の四季第14号、15号」の発行
- (2) 瑞鳳殿ホームページの運用
- (3) イベントポスター・チラシの作成
- (4) 観光情報誌等への情報掲出
- (5) サイネージによる広報(JR仙台駅・地下鉄東西線 国際センター駅)
- (6) イベントボード(地下鉄南北線及び東西線全駅)
- (7) JR車内中吊り広告の掲出(仙石線・仙台空港アクセス線)
- (8) SENDAI Communication Fair in 国際センターへの出展
- (9) 広報用写真素材充実のための写真撮影委託業務

6 瑞鳳殿施設の解説・案内

- (1) Uni-Voice による多言語音声ガイドシステムの運用
- (2) 瑞鳳殿ボランティアガイドによる解説・案内
- (3) 多言語リーフレットの配布

7 学校・観光事業者等に対する支援

- (1) 校外学習受入れ 161校 2,741名
- (2) 出前講座の講師派遣 1件 (ガイドの会30名)
- (3) 博物館実習生の受入 平成30年9月10日(月)～15日(土) 4名
- (4) 瑞鳳殿プレゼンテーション 5件 58名

8 奉納

- (1) 地元企業による地場産品奉納 5月8日(火) 48社奉納
- (2) 宮城県酒造組合新酒奉納 2月22日(金) 10社奉納

9 協賛

- (1) 第21回仙台青葉能 5月19日(土)
- (2) 第34回仙台青葉まつり 5月19(土)、20日(日)
- (3) 平成30年度 仙台七夕まつり 8月6日(月)～8日(水)
- (4) 第21回みちのくYOSAKOIまつり 10月6日(土)、7日(日)
- (5) 2018 SENDAI 光のページェント 12月14日(金)～31日(月)

10 防災・環境衛生活動

- (1) 消防訓練 2月20日(水)
- (2) 瑞鳳殿すすはらい 12月14日(金)

11 施設等の老朽・安全対策

- (1) 感仙殿・善応殿側涅槃門の改修
- (2) 屋外トイレの改修
- (3) 防災設備の改修
- (4) 瑞鳳殿管理棟及び資料館耐震診断老朽度調査

12 その他・サービス

- (1) 売店(お土産、政宗公関連グッズ、オリジナル商品の販売等)
- (2) 駐車場の管理運営
駐車場、コインロッカー(観覧者無料)
 - ・第1駐車場 収容台数30台
 - ・第2駐車場 収容台数18台
- (3) Wi-Fi 設置による運用(境内内フリー)
- (4) キャッシュレス決済(AirREGI、AirPAY、AirPAYQR)の導入
クレジットカード、交通系電子マネーの利用拡大に対応

13 関係団体との情報交換

- (1) 向山経ヶ峯親交会、霊屋下町内会との情報共有 4月25日(水)
- (2) 瑞鳳殿ガイドの会との意見交換会 3月4日(月)

14 職員研修

- (1) 情報公開と個人情報保護研修 6月25日(月)
- (2) 公益法人会計研修 7月5日(木)、8月21日(火)
- (3) 訪日外国人受入向上セミナー 11月8日(木)
- (4) 博物館職員のためのマーケティング講座 11月27日(火)
- (5) 日博協議会(奈良)文化財の保存修復の現状－課題と展望 2月21(木)～22日(金)
- (6) SMMA研修会 文化財の梱包・輸送について 2月20日(水)

II 観覧者数の動向(3ヵ年・対前年度増減比)

- ・平成28年度 198,886人(2.5%増)
 - 大人 : 184,164人、高校生 : 2,670人、小中学生 : 12,052人
- ・平成29年度 234,695人(18%増)
 - 大人 : 217,893人、高校生 : 3,488人、小中学生 : 13,314人

・平成30年度 267,438人 (14%増)

大人 : 249,606人、高校生 : 3,546人、小中学生 : 14,286人

III 庶務報告

(1) 理事会に関する事項

- ① 第1回理事会 平成30年5月22日(火) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・平成29年度事業報告及び決算に関する件
・瑞鳳殿外建物長期修繕計画に関する件
・評議員会の招集に関する件
- ② 第2回理事会(定款第37条に基づく決議の省略) 平成30年6月8日(金)
議案 ・理事長及び副理事長の選任に関する件
- ③ 第3回理事会 平成31年3月20日(水) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・常勤役員の報酬年額の決定に関する件
・平成31年度事業計画に関する件
・平成31年度収支予算に関する件

(2) 評議員会に関する事項

平成30年度定時評議員会 平成30年6月8日(金) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・評議員の選任に関する件
・役員を選任に関する件
・平成29年度決算に関する件
・霊廟整備積立資産取り崩しに関する件

(3) 役員及び評議員並びに職員に関する事項(平成31年3月31日現在)

① 役員

理事9名 監事2名

② 評議員

9名

③ 職員

事務局長(副理事長兼務)、次長、一般職員5名、嘱託職員3名、臨時職員9名

(4) 届出に関する事項

届出年月日	件名	届出先
平成30年 6月28日	平成29年度事業報告等の提出	宮城県知事
平成30年 9月10日	変更届出(役員変更名簿等)	宮城県知事
平成31年 3月29日	平成31年度事業計画書等の提出	宮城県知事

II 貸借対照表 平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,624,117	49,835,183	5,788,934
未収金	580,449	265,214	315,235
前払金	7,200	7,200	0
流動資産合計	56,211,766	50,107,597	6,104,169
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建 物	738,755,524	742,137,165	△ 3,381,641
構 築 物	9,467,961	9,964,523	△ 496,562
霊廟関係資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	138,119,315	134,241,112	3,878,203
基本財産合計	888,342,800	888,342,800	0
(2) 特定資産			
霊廟整備積立資産	130,986,680	128,158,000	2,828,680
減価償却引当資産	46,380,352	43,291,589	3,088,763
資料購入積立資産	21,500,000	21,500,000	0
退職給付引当資産	24,407,079	22,745,079	1,662,000
特定資産合計	223,274,111	215,694,668	7,579,443
(3) その他固定資産			
建 物	2,819,810	804,755	2,015,055
構 築 物	13,034,333	15,330,161	△ 2,295,828
霊廟関係資産	6	17,120	△ 17,114
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,977,280	2,320,036	△ 342,756
その他固定資産合計	17,831,430	18,472,073	△ 640,643
固定資産合計	1,129,448,341	1,122,509,541	6,938,800
資産合計	1,185,660,107	1,172,617,138	13,042,969
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,994,409	8,776,727	△ 1,782,318
預り金	691,521	686,725	4,796
賞与引当金	2,297,093	2,357,000	△ 59,907
流動負債合計	9,983,023	11,820,452	△ 1,837,429
2. 固定負債			
退職給付引当金	24,407,079	22,745,079	1,662,000
固定負債合計	24,407,079	22,745,079	1,662,000
負債合計	34,390,102	34,565,531	△ 175,429
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産合計	782,556,000	782,556,000	0
(うち基本財産への充当額)	(782,556,000)	(782,556,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	368,714,005	355,495,607	13,218,398
(うち特定資産への充当額)	(105,786,800)	(105,786,800)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(223,274,111)	(215,694,668)	(7,579,443)
正味財産合計	1,151,270,005	1,138,051,607	13,218,398
負債及び正味財産合計	1,185,660,107	1,172,617,138	13,042,969

Ⅲ 正味財産増減計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	157,240	265,130	△ 107,890
基本財産受取利息	157,240	265,130	△ 107,890
事業収益	131,774,465	115,221,291	16,553,174
観覧料収益	129,403,848	113,062,611	16,341,237
刊行物販売収益	2,370,617	2,158,680	211,937
受取寄付金	0	40,000	△ 40,000
受取寄付金	0	40,000	△ 40,000
雑収益	5,544,777	5,391,587	153,190
受取利息	41,200	188,410	△ 147,210
雑収益	5,503,577	5,203,177	300,400
経常収益計	137,476,482	120,918,008	16,558,474
(2)経常費用			
①事業費	118,025,971	94,564,139	23,461,832
役員報酬	3,313,470	2,773,478	539,992
給料手当	34,894,285	34,484,527	409,758
臨時雇賃金	12,451,278	10,183,867	2,267,411
賞与引当金繰入額	2,248,175	2,286,750	△ 38,575
退職給付費用	1,163,000	1,194,000	△ 31,000
福利厚生費	6,699,808	6,566,093	133,715
会議費	3,888	5,280	△ 1,392
交際費	173,324	180,944	△ 7,620
旅費交通費	126,232	289,816	△ 163,584
通信運搬費	386,580	358,232	28,348
減価償却費	6,441,056	6,305,802	135,254
消耗什器備品	1,253,569	1,602,850	△ 349,281
消耗品費	2,495,531	2,316,023	179,508
修繕費	23,867,866	6,769,507	17,098,359
印刷製本費	2,023,516	1,779,997	243,519
賃借料	1,715,316	1,895,121	△ 179,805
広告料	1,349,358	1,118,838	230,520
保険料	861,171	651,765	209,406
支払手数料	168,388	166,389	1,999
諸謝金	717,000	669,274	47,726
租税公課	6,653,600	6,217,230	436,370
支払負担金	885,635	882,071	3,564
委託費	7,187,290	4,891,298	2,295,992
光熱水料費	711,831	718,177	△ 6,346
燃料費	32,638	30,975	1,663
雑費	202,166	225,835	△ 23,669

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	6,232,113	5,574,264	657,849
役員報酬	1,364,730	1,002,442	362,288
給料手当	1,601,238	1,529,440	71,798
賞与引当金繰入額	48,918	70,250	△ 21,332
退職給付費用	499,000	510,275	△ 11,275
福利厚生費	390,318	328,108	62,210
会議費	232,406	204,834	27,572
交際費	29,273	20,450	8,823
旅費交通費	58,508	41,834	16,674
通信運搬費	93,499	70,422	23,077
減価償却費	525,910	368,986	156,924
消耗品費	8,160	8,160	0
修繕費	323	822	△ 499
印刷製本費	5,586	1,749	3,837
保険料	19,024	14,840	4,184
支払負担金	8,245	8,245	0
光熱水料費	1,013,340	1,077,258	△ 63,918
燃料費	308,346	311,575	△ 3,229
雑費	25,289	4,574	20,715
経常費用計	124,258,084	100,138,403	24,119,681
当期経常増減額	13,218,398	20,779,605	△ 7,561,207
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	0	4,100	△ 4,100
構築物除却損	0	1	△ 1
什器備品除却損	0	4,099	△ 4,099
経常外費用計	0	4,100	△ 4,100
当期経常外増減額	0	△ 4,100	4,100
当期一般正味財産増減額	13,218,398	20,775,505	△ 7,557,107
一般正味財産期首残高	355,495,607	334,720,102	20,775,505
一般正味財産期末残高	368,714,005	355,495,607	13,218,398
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産期末残高	782,556,000	782,556,000	0
III 正味財産期末残高	1,151,270,005	1,138,051,607	13,218,398

IV 正味財産増減書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	157,240		157,240
基本財産受取利息	157,240		157,240
事業収益	124,774,465	7,000,000	131,774,465
観覧料収益	122,403,848	7,000,000	129,403,848
刊行物販売収益	2,370,617		2,370,617
受取寄付金	0		0
受取寄附金	0		0
雑収益	5,544,777		5,544,777
受取利息	41,200		41,200
雑収益	5,503,577		5,503,577
経常収益計	130,476,482	7,000,000	137,476,482
(2)経常費用			
①事業費	118,025,971		118,025,971
役員報酬	3,313,470		3,313,470
給料手当	34,894,285		34,894,285
臨時雇賃金	12,451,278		12,451,278
賞与引当金繰入額	2,248,175		2,248,175
退職給付費用	1,163,000		1,163,000
福利厚生費	6,699,808		6,699,808
会議費	3,888		3,888
交際費	173,324		173,324
旅費交通費	126,232		126,232
通信運搬費	386,580		386,580
減価償却費	6,441,056		6,441,056
消耗什器備品	1,253,569		1,253,569
消耗品費	2,495,531		2,495,531
修繕費	23,867,866		23,867,866
印刷製本費	2,023,516		2,023,516
賃借料	1,715,316		1,715,316
広告料	1,349,358		1,349,358
保険料	861,171		861,171
支払手数料	168,388		168,388
諸謝金	717,000		717,000
租税公課	6,653,600		6,653,600
支払負担金	885,635		885,635
委託費	7,187,290		7,187,290
光熱水料費	711,831		711,831
燃料費	32,638		32,638
雑費	202,166		202,166

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
②管理費		6,232,113	6,232,113
役員報酬		1,364,730	1,364,730
給料手当		1,601,238	1,601,238
賞与引当金繰入額		48,918	48,918
退職給付費用		499,000	499,000
福利厚生費		390,318	390,318
会議費		232,406	232,406
交際費		29,273	29,273
旅費交通費		58,508	58,508
通信運搬費		93,499	93,499
減価償却費		525,910	525,910
消耗品費		8,160	8,160
修繕費		323	323
印刷製本費		5,586	5,586
保険料		19,024	19,024
支払負担金		8,245	8,245
光熱水料費		1,013,340	1,013,340
燃料費		308,346	308,346
雑費		25,289	25,289
経常費用計	118,025,971	6,232,113	124,258,084
当期経常増減額	12,450,511	767,887	13,218,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額		0	0
当期一般正味財産増減額	12,450,511	767,887	13,218,398
一般正味財産期首残高			355,495,607
一般正味財産期末残高			368,714,005
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			782,556,000
指定正味財産期末残高			782,556,000
III 正味財産期末残高			1,151,270,005

V 財務諸表に対する注記(貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書)

1 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。

② 固定資産の減価償却について

有形固定資産 定額法による減価償却を実施している。ただし会計規程第38条に基づき文化的価値を有する建物等については、減価償却は行っていない。

③ 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。
賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち当該事業年度に対応する見込額をを計上している。

④ 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建築物	742,137,165	0	3,381,641	738,755,524
構築物	9,964,523	0	496,562	9,467,961
霊廟関係資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	134,241,112	3,878,203	0	138,119,315
小 計	888,342,800	3,878,203	3,878,203	888,342,800
特定資産				
霊廟整備積立資産	128,158,000	25,000,000	22,171,320	130,986,680
減価償却引当資産	43,291,589	3,088,763	0	46,380,352
資料購入積立資産	21,500,000	0	0	21,500,000
退職給付引当資産	22,745,079	1,662,000	0	24,407,079
小 計	215,694,668	29,750,763	22,171,320	223,274,111
合 計	1,104,037,468	33,628,966	26,049,523	1,111,616,911

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建築物	738,755,524	(699,255,524)	(39,500,000)	0
構築物	9,467,961	0	(9,467,961)	0
霊廟関係資産	2,000,000	0	(2,000,000)	0
減価償却引当資産	138,119,315	(83,300,476)	(54,818,839)	0
小 計	888,342,800	(782,556,000)	(105,786,800)	0
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	(130,986,680)	0
減価償却引当資産	46,380,352	0	(46,380,352)	0
資料購入積立資産	21,500,000	0	(21,500,000)	0
退職給付引当資産	24,407,079	0	(24,407,079)	(24,407,079)
小 計	223,274,111	0	(223,274,111)	(24,407,079)
合 計	1,111,616,911	(782,556,000)	(329,060,911)	(24,407,079)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	26,591,670	23,771,860	2,819,810
構 築 物	69,089,213	56,054,880	13,034,333
霊 廟 関 係 資 産	66,586,470	66,586,464	6
車 両 運 搬 具	1,737,490	1,737,489	1
什 器 備 品	17,010,526	15,033,246	1,977,280
合 計	181,015,369	163,183,939	17,831,430

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位:円

銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
仙台市市債平成26年度第1回公募公債	13,000,000	13,010,400	10,400
仙台市市債平成29年度第2回公募公債	140,000,000	140,196,000	196,000
仙台市市債平成30年度第3回公募公債	50,000,000	50,035,000	35,000
合 計	203,000,000	203,241,400	241,400

6 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	2,357,000	2,297,093	2,357,000	2,297,093
退職給付引当金	22,745,079	1,662,000	0	24,407,079

VI 財産目録

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

単位:円

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	つり銭準備金、3/29,3/30、3/31観覧料さい銭	2,015,831
預金	普通預金 七十七銀行仙台市役所支店 三井住友銀行仙台支店	運転資金として 運転資金として	48,910,712 4,697,574
未収金 前払金	JTB等旅行代理店他 (公財)仙台市市民文化事業団	観覧料売上クーポン 政宗歴史塾会場費として	580,449 7,200
流動資産合計			56,211,766
(固定資産)			
基本財産			
建物	瑞鳳殿、感仙殿、善応殿、仙台市青葉区霊屋	不可欠特定財産として公益目的に供している	738,755,524
霊廟関係資産	展示品	不可欠特定財産として公益目的に供している	2,000,000
構築物	殉死者墓石等	不可欠特定財産として公益目的に供している	9,467,961
減価償却引当資産	仙台市市債平成26年度他 普通預金 七十七銀行仙台市役所支店	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の財源としている 公益目的の事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	123,000,000 15,119,315
特定資産	霊廟整備積立資産	仙台市市債平成29年度第2回 満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業に供している	60,000,000
	普通預金 七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	27,828,680
	定期預金 七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	25,000,000
	減価償却引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店 普通預金七十七銀行仙台市役所支店	43,291,589 3,088,763
	資料購入積立資産	仙台市市債平成29年度第2回 満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源に供している	20,000,000
		定期預金七十七銀行仙台市役所支店	1,500,000
	退職給付引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店 普通預金七十七銀行仙台市役所支店	22,745,079 1,662,000
その他固定資産			
建物	玉垣、銅製大香炉舎等	公益目的事業	2,819,810
構築物	駐車場管理棟等	公益目的事業	13,034,333
霊廟関係資産	伊達政宗坐像縮小模型等	主として公益目的事業	6
車両運搬具	公用車	主として公益目的事業	1
什器備品	銅製大花瓶、提灯掛等	公益目的事業	1,977,280
固定資産合計			1,129,448,341
資産合計			1,185,660,107
(流動負債)			
未払金	仙台市中税務署他 日本年金機構仙台北年金事務所 株式会社市場建築構造設計事務所、株式会社ハリコミュニケーションズ等	消費税、法人税等 社会保険2、3月分 公益目的事業 委託費等	2,185,100 872,656 3,936,653
預り金	職員	社会保険料、住民税	691,521
賞与引当金	職員	職員の賞与支給に備えたもの	2,297,093
流動負債合計			9,983,023
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	公益目的事業退職給支給に備えたもの	24,407,079
固定負債合計			24,407,079
負債合計			34,390,102
正味財産			1,151,270,005

監査報告書

令和元年5月14日

公益財団法人 瑞鳳殿
理事長 藤本 章 様

公益財団法人 瑞鳳殿

監事 高山 香樹 

監事 甲子 玲江 

私達は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度、公益財団法人瑞鳳殿の事業及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。